

会議開催記録

会議名	第2回 森町学校のあり方検討会
日時	平成29年7月11日(火) 13:00~15:40
場所	学校視察・森町文化会館研修室
出席者	教育委員長 検討会委員22名、事務局3名
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ(会長) 3 学校視察 ・飯田小 → 三倉小 → 泉陽中 → 森中 4 協議事項(第2研修室) <ol style="list-style-type: none"> (1) 意見交換 各学校のメリット、デメリットについて (2) アンケートについて (3) その他 5 閉会
議事要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会(事務局) 2 あいさつ(会長) 学校関係者はいろいろな学校に行く機会があるが、保護者の方々は自分の子供の学校以外の学校を見ることはなかなかないと思う。今日は視察をして委員の方がどのような感想を持ったかをアンケートや意見交換をしていただきたい。 3 学校視察 ・飯田小 → 三倉小 → 泉陽中 → 森中 4 協議事項(第2研修室) <ol style="list-style-type: none"> (1) 意見交換 各学校のメリット、デメリットについて <p>会長： なかなか意見が出しづらいと思うので保護者の方の感想をお願いしたい。</p> <p>委員： 三倉小学校の複式学級の算数の授業を見て、少ない人数の分先生が対応できて良いのかもしれないが、児童同士の指摘がしづらいのが残念に思う。</p> <p>委員： 三倉小学校での感想は吉川委員と同じ意見を思った。少人数で仲が良いのはいいと思う。児童同士での注意や指摘がしづらい、ざわざわするだけで終わってしまうのでそういった面が学業に関してはマイナスだと感じる。飯田小学校は単学級で運用しているが、三倉小学校を見た後では先生1人で児童を見きれるのかと思う。泉陽中学校は生徒の規模にしてはディスカッションが活発であり、少人数の部分は気になるが、今の泉陽中学校の生徒規模でこのくらい活発にディスカッションができるのであれば、それもアリかもしれない。</p> <p>委員： 三倉小学校に子供が通っているのだから、授業の様子は参観会などで見ているが、小学校の複式学級の算数の授業は初めて見た。率直な感想として授業がバタバタしていると見受けられる。先生も高学年の複式学級の授業では大変だろうと想像できる。授業の質や進捗状況、内容を複式学級と普通学級で実際に授業をしている先生がどう思っているのかを知りたい。中学校に関しては泉陽中が生徒数の割には意見が出ていると感じた。森中も人数が多いイメージがあったが、今回の視察で、目いっぱい授業している感じはしなかった。それぞれの学校の良さはあると思うが、統合して生徒数が増えても良い授業が出来るのではないかと思う。</p> <p>委員： 今日の検討会の前に、同じ職場の泉陽中卒業の知り合いに話をしたところ、少人数はやはり良くないとの意見を言っていた。高校に進学した際に中退した生徒がいたりする。泉陽中は人数が少ないので生徒同士や先生とも距離が近いので、高校に進学すると環境の変化によって馴染めない子がいた。高校に入ると様々な人が居</p>

る、そこに生徒たちが今までに触れたことが無いような性格の生徒に馴染めないこともある。少人数のまま小学校から上がってくるので回りに友達が多いままなので、新しい環境で新しく友達を作ることに戸惑いを感じているのだと思う。

委員： 飯田小で1クラスの人数が多く、先生1人で対応しているのは大変だと思うし、2クラスに分けた方が児童のためになるのではないかと思う。三倉小は多くても8人前後であり、複式学級もちょうど良い規模だと思う。天方小の複式学級は5～6学年で複式学級になっており、それぞれが6人と7人の13人で複式になっていが、前と後ろに分かれてもスペースが少なく、後ろの方がざわついていた。もう少し複式も人数を考えてやってもらいたいと思う。複式学級になるのは(児童数によって)決まっているとのことだが、保護者には前もって伝えるなど配慮が欲しい。今回の視察で各学校のメリットデメリットが分かれていると感じた。

委員： 私の子供が三倉小に通っている。日頃の参観会では、複式の授業を見る機会がなかった。先生との距離が近いことで、先生や友達が言い出せないことも引き出してくれる。三倉小で育っていくことでそれが当たり前になってきている。子供も人数が少ないことで、特定の子供と一緒にいるのが当たり前になっていたりするので、そのことが少し重いと感じる。中学校では生徒数が少ないことで部活動が乏しいのが残念に思う。生徒が自分の能力を出し切れるような部活動をさせてあげたいと感じた。

委員： 視察をするにしても児童・生徒数が少ないので見る時間をあまり必要としない場面がある。泉陽中の社会の時間で授業の内容は森町にあるものがあるかいないかを議論する授業だったが、自分が見たから正しいという意見を生徒が出していた。もっと広くいろんなことを見れば、見方や考え方があると感じた。森町内の学級数の差がある学校だけでなく、もっと4～5学級数がある(他市町の)学校の視察をした方が良いのではないか。子供たちが切磋琢磨するには1クラス4学級や5学級などいろいろな活動ができる規模が良いのではないか。子供は地域を表す。現在も良いとは思いますが、子供の将来を考えた時に切磋琢磨していくときに、今のままでいいとせずに、いろいろな人と関わりながら力をつけていくことを考えると、4～5学級の規模が良いと思う。

委員： 先生方の指導の工夫が見られた。各学校でのデメリットに対して工夫を生かした授業を行っていた。支援員や免許外の先生の配置等をしており、取り組みを感じている。一部の児童がよく授業中に発言しており、授業妨害の要因であるのが気になった。通常は周りからの注意が出たりするなど自浄能力があったりするが、そういうのが働かないクラスも見受けられた。

委員： 子供の現状や将来を考えなければならないが、先生の負担について児童数が多くなれば多くなるとの意見があり、先生への負担が結果的に子供への影響にも関わってくると考えられる。それぞれの実態が違うとは思いますがどうなのか。

委員： 確かに飯田小と三倉小の1学年の宿題を見ると負担は違うと思う。しかし、三倉小の複式学級の授業の計画・準備にも大変な苦労があると思う。学校の規模によるそれぞれの先生の工夫や負担があるので、どこの学校は負担が少ないとかはないと思う。

委員： 息子が先日飯田小と交流があった際に飯田小に転校したいと言っていた。高学年になってくると少人数について物足りなくなってしまうのかなと感じている。

委員： 先ほど委員から、担任の先生による工夫があるという話があった。前に娘の担任が宿題について、保護者の方に丸を付けてくださいという時や先生が答えを言うので丸つけをしましょうと提案をする先生がいた。そういう話を先生から言って各家

庭が協力するやり方も良いのではないかと思う。子供がどういう勉強をしているかどこが分からないかなども保護者が理解もしやすくて良かったと思う。

会 長： 今回の視察でみなさんが思ったところは割と近いものがあると思う。森町は大規模校が1つもないので、大規模校に関する情報が入らない。また、大規模校には大規模校の弊害がある。適正というと小学校であればやはり2クラス、中学校であれば3～4クラスあれば一般的にはいいと言われている。もう一方でお願いとして考えて欲しいのは、小規模校であればあるほど地域の学校に対する思いは強いものがある。学校を考える際には子供が最優先であるが、同時にこれからの学校を考える時に保護者や地域の方の協力なしには成り立ちにくい。先ほど出ていた保護者に採点を協力してもらうのは学校側も非常に助かることだが、保護者の家庭環境は様々であるので協力できない保護者もある。そうすると今後頼りになるのは地域になる。地域の人たちががっかり感無く一体となれる方法を考えなければならない。そうでなければ、出来るだけ大規模校が良いとなれば森町ではなく磐田や袋井でいいのではないかとなる。保護者や地域の目が合って、地域の愛情があるところから地域が寂れていくというのは決して望ましくない。それを食い止める方法はないかというのもこの学校のあり方検討会で同時に考えていきたいと思う。みなさんも可能な範囲で知恵を絞っていただきたいと思う。

(2) アンケートについて

会 長： どのような聞き方をするかなど、これから考えていかなければならないが、保護者を対象に自分の子供の教育環境としてどんなことを願うかを聞いてみたいと思う。実際に行うのは8月になる予定。事務局の方で項目の追加や文言の修正などを行う。アンケートはあり方検討会として行うが、私と事務局に一任していただければありがたいと思う。アンケートを行う前に委員の皆さんにどういった内容で行うなどの話はさせていただく。

委 員： このアンケートは保護者のみが対象か、子供も対象にするか。

会 長： 子供は他と比較することが難しいと考えている。基本的には保護者を対象に行う予定。

委 員： 資料についているアンケートの項目の幼小中と子供の欄に該当がない場合はどうするのか。

会 長： 保護者の方を対象にしている。(資料のアンケートは)取り急ぎ作ったもので該当なしの項目があるが、基本的に幼小中に子供がいる保護者に出す。

委 員： 本多委員の意見にもあったが、他の学校に行ってみたいという子供もいる。保護者のみのアンケートにするよりも児童の意見を聞くのも良いのではないか。

会 長： 子供に対して人数の大小を聞くのも難しい。保護者に対して行うアンケートの記入欄に子供の意見を書く欄を設けるようにしたらどうかと思う。

会 長： 今までの意見を含めて事務局の方に14日までにアンケートに関する意見をいただくようにしたい。18日には意見を含めて修正をする。アンケートは配布してから期間があると回収できないケースがある。

事 務 局： では2学期の始業式にアンケートの配布を行い、9月中旬には回収を行うようにする。次回のあり方検討会ではなく、その次ぐらいに結果を見る。修正意見については7月21日までにいただく。

(3) その他

5 閉会

事 務 局： 次回については8月下旬から9月にかけて開催を行う予定。第一希望としては9月6日(水)14時から2時間程度を考えているが如何か。その際の開催内容につ

いては、第一回目に配布した開催内容の予定について話し合いを進める予定。第4回については11月頃を予定しており、アンケートの結果を集計したものを配布する。また、第3回目から第4回目の間に地域の方の意見を直接伺う予定である。

教 育 長： 事務局の方からの夏休みにかけての動きだが、あり方検討会と平方して町長と語る会を今年度も行うので、その席で今の経過説明を行う。教育委員会としても学校のあり方の道筋は本年度の一番の大きな仕事として捉えている。いろいろな声を聴きながらそれを方針に挙げたものを事務局できちんと分析して、町当局との話し合いに臨む。みなさまが協議したようなことを次回以降もお願いしたい。地域や保護者と思いを共有しながら良い方向にまとまっていきたいと思う。

事 務 局： アンケートの修正・意見があれば7月21日（金）までをお願いしたい。アンケートは2学期当初に配って9月中旬までに回収を行う。第3回学校のあり方検討会は9月6日（水）14時からを予定している。本日はありがとうございました。

以上